

令和7年度第1回 里庄町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和7年10月31日(金) 開会9時00分 閉会9時40分
- 2 場 所 里庄町役場 本庁舎2階 第2会議室
- 3 出席者 町 長 加藤 泰久
教 育 長 杉本 秀樹
教育委員 三吉 俊郎(教育長職務代理者)・堀 朝子・小野 愛
オブザーバー
教育委員会 山本事務局長・天野参事・原田指導主事
事務局
総 務 課 村山課長・岡本主任

4 議事概要及び出席者の発言(要旨)

○第3次里庄町教育大綱(案)について

今回の改正は、第4次里庄町振興計画(後期計画)(以下、「振興計画」という。)の策定に伴う改正となるが、振興計画が前期から後期への改正であり、基本的なところは引き続き継続していくこととなるため、教育大綱(案)の基本方針について大きな変更はない。

これまでのとおり、「人権尊重の精神に根差した、心豊かで自立した人づくり」を基本理念とし、「(1)生きる力を育む学校教育」、「(2)心豊かで生きがいを育む生涯学習の振興」、「(3)やすらぎとうるおいを感じる芸術・文化の振興・歴史の保存」、「(4)生涯にわたるスポーツの振興」、「(5)異なる国や地域・人との交流活動の推進」の5つの柱を基本方針として進める。

なお、教育大綱(案)の主な改正点は、次のとおり。

- ・「1 はじめに」の箇所は、振興計画の冒頭、町長挨拶を参考に修正している。
- ・計画期間は、振興計画に合わせて令和7年度から令和11年度となる。
- ・基本方針(1)生きる力を育む学校教育の充実において、大筋は変わっていないが、「子ども一人ひとり」を「認めること」というところを強調するような文章に改正する。
- ・その他細かい字句の修正を行う。

→教育大綱(案)について、委員からの反対意見や修正意見は特になし。

○その他の意見・質疑応答

- ・冒頭の「みんなで地域を考えよう」というところで、若い人たちが「どういう町であってほしい」と考えているのか、知る機会があればいいと思う。
- ・「認める」という言葉がボディブローのようにじわじわと効いてくると感じている。

- ・大人の社会でも「認める」ことができていない（できていてほしいが実践されていない状況）。子どもと同じようになることが本当に難しい。
- ・（４）生涯にわたるスポーツの振興において、指導者不足等で人材の確保が難しいということは認識しているが、過去に実施していたポートボールのような小学生女子向けのスポーツがもう少し充実すればいいと思う。
- ・さまざまな理由で子ども会に入っていない子どももいるが、地区の行事等でも扱いに差が出ないような取組みができないか。
⇒そういった問題意識を声に出していくことが、「みんなで地域を考える」ということにつながっていく。
- ・ある地域では消防団が中心となって、つながりを継続していくために子どもから大人までを巻き込んだ地域づくりをしてくれている。子どもたちが安心して地域の中で生活するためには、普段からつながりを作っておくことが非常に重要なこと。そのような消防団活動などが地域コミュニティの醸成の一助になっている。
- ・学校教育において、子どもたちが先生に認めてもらい、寄り添ってもらっていることで、距離が近く、また、いつでも相談しやすい雰囲気になっていると感じる。引き続き、子どもたち一人ひとりを認めて、寄り添ってもらいたいと思う。
- ・里庄の人は優しいと感じている。地域の方々へ講師や子どもたちの見守り活動をお願いしたときには、とても気持ちよく引き受けてくださり、また、温かい言葉をかけてくださるなど、地域の方々にお世話になっていると常々感じている。